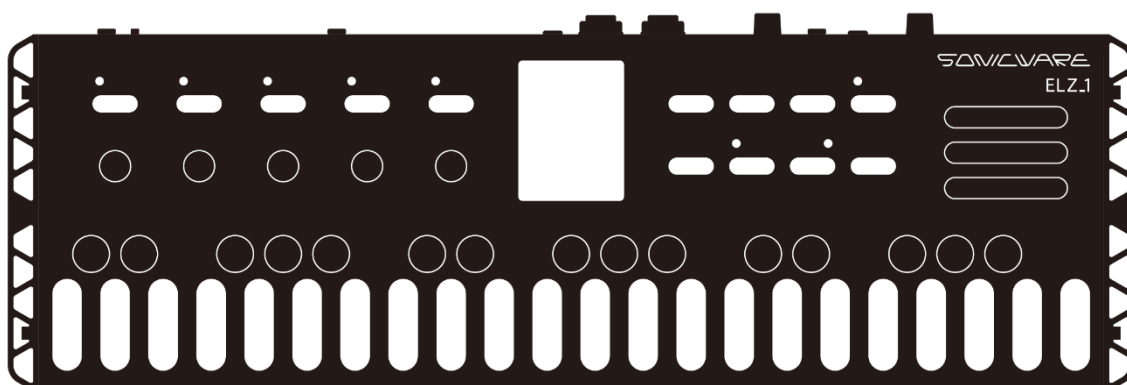


SONICWARE

ELZ_1 Ver.2 追補マニュアル

Rev.1.0



目次

.....	1
ELZ_1 Ver.2 追補マニュアル	1
1 このマニュアルについて.....	3
2 ステップシーケンサー	3
2.1 ステップシーケンサーモードの起動	3
2.2 画面	4
2.3 ステップシーケンサーモード時の基本操作	4
2.4 ステップレコーディング（ノンリアルタイム）	5
2.5 停止中/ステップレコーディング中のパラメーター	6
2.6 リアルタイムレコーディング	7
2.7 再生中/リアルタイムレコーディング中のパラメーター	8
3 新規追加 MIDI メッセージ	8
4 パターン管理.....	9
4.1 パターンの名前変更.....	9
4.2 パターン単体の初期化.....	10
4.3 パターンのエクスポート	10
4.4 パターンのインポート	11
5 ELZ_1 を外部クロックと同期する（CLOCK メニュー）	12
6 SYNC 機能	13
6.1 外部クロックソースと ELZ_1 の AUX IN 端子の接続	13
6.2 SYNC 信号の入力ゲインを調整する	14
6.3 SYNC THRU 機能	15
7 シンセエンジンの新規追加機能.....	16
7.1 モジュレーション対象パラメーターの追加	16
7.2 SAND FLUTE の MONO/LEGATO モードに GLIDE パラメーターの追加.....	16
8 ユーザーデータのバックアップ対象の追加	17
8.1 バックアップ対象のユーザーデータ	17
8.2 Ver.1 でバックアップしたファイルとの互換性.....	17

1 このマニュアルについて


この追補マニュアルでは SYSTEM Ver.2 ファームウェアで追加された機能について説明します。

2 ステップシーケンサー

Ver.2 で最大 64 ステップ×6 ボイスのステップシーケンサーが搭載されました。

ステップシーケンサーでは最大 128 パターンを作成することができます。ノンリアルタイムでのステップレコーディングはもちろん、リアルタイムに演奏しながらシーケンスをビルドアップしていくことができるリアルタイムレコーディング機能も搭載しています。

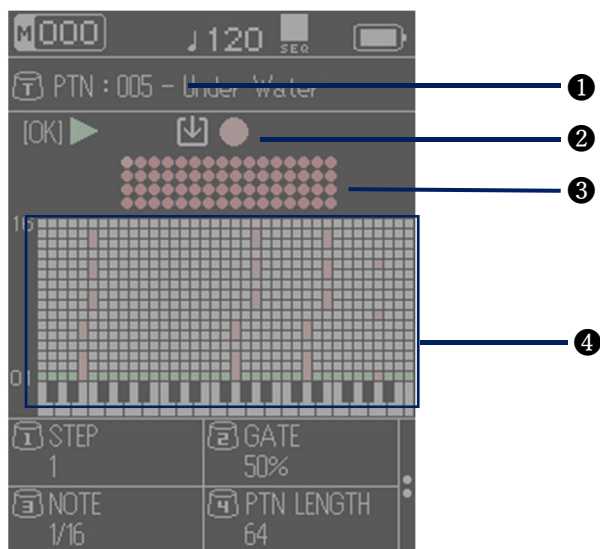
2.1 ステップシーケンサーモードの起動

アルペジエーター画面を表示中に  [ARP/SEQ] キーを長押ししてステップシーケンサーモードに切り替えます。

【HINT】

- ・ アルペジエーターとシーケンサーは同時に使用できません。
- ・ シーケンサー使用中は MEMORY に保存されているアルペジエーターの設定は無視されます。

2.2 画面



- ① パターン番号/保存先パターン番号表示
- ② 操作ガイド
- ③ STEP ロケーション表示
- ④ ピアノロール表示

2.3 ステップシーケンサーモード時の基本操作

キー	機能
[OK]キー	シーケンスの再生、停止
[SAVE]キー	シーケンスの録音開始、終了
[MENU]キー	(録音中) 録音キャンセル
[ARP/SEQ]+[EFX]キー同時押し	(録音中) パターンのノート全消去

2.4 ステップレコーディング（ノンリアルタイム）

ノンリアルタイムに任意のステップにノートを入力するモードです。

- ① 停止中に[SAVE]キーを押しレコーディングを開始する
- ② STEP パラメーターで任意の STEP を選択する
- ③ 入力したいノートの鍵盤を押す
- ④ ②～③を繰り返しパターンを作成する
- ⑤ ノートの入力が終わったら[SAVE]キーを押してレコーディングを終了する

【HINT】

- ・ 誤って入力したノートを削除したい場合は、再度同じ鍵盤を押すことで削除できます。
- ・ 鍵盤を押しながら STEP を動かすことで、複数ステップをまとめて入力できます。
- ・ 録音をキャンセルしたい場合は[MENU]キーを押すことで録音前の状態に戻すことができます。
- ・ ステップレコーディング中に再生されると、リアルタイムレコーディングモードになります。

2.5 停止中/ステップレコーディング中のパラメーター

停止中/STEP RECORDING 中のパラメーター			
<TYPE>ノブ	停止中：PTN STEP REC 中：SAVE TO	000~127	停止中：パターンを選択 STEP REC 中：SAVE 先選択
PRM1	STEP	1~64	現在の STEP 番号
PRM2	GATE	10~90%	
PRM3	NOTE	1/1 (全音符) 1/2 (2分音符) 1/4. (付点4分音符) 1/4 (4分音符) 1/8. (付点8分音符) 1/2(3) (4分3連符) 1/8 (8分音符) 1/16. (付点16分音符) 1/4(3) (8分3連符) 1/16 (16分音符) 1/32 (32分音符)	1STEP あたりの音符の長さ
PRM4	PTN LENGTH	選択中パターンの STEP 数	
PRM5	PTN CHAIN	Off, On	再生時に指定したパターン間をチェーンして再生するか否かの設定
PRM6	START PTN	000~127	チェーン時の開始パターン
PRM7	END PTN	000~127	チェーン時の終了パターン
PRM8	AUTO STEP	Off, On	On のとき、鍵盤を使ってノートを入力後に自動でSTEP 番号が1つ移動します

2.6 リアルタイムレコーディング

リアルタイムにノートを入力するモードです。

- ① 再生中に[SAVE]キーを押しリアルタイムレコーディングを開始する
- ② 任意のタイミングで鍵盤で演奏する
- ③ 演奏が終わったら[SAVE]キーを押しリアルタイムレコーディングを終了する

【HINT】

- ・ 録音をキャンセルしたい場合は[MENU]キーを押すことで録音前の状態に戻すことができます。
- ・ リアルタイムレコーディング中に再生を停止すると、ステップレコーディングモードになります。

2.7 再生中/リアルタイムレコーディング中のパラメーター

再生中/リアルタイムレコーディング中のパラメーター			
<TYPE> ノブ	再生中：PTN 録音中：SAVE TO	000~127	再生中：パターンの選択 録音中：SAVE 先選択
PRM1	REC MODE	ADD, OVERWRITE, ADD(1), OVERWRITE(1), ERASE	録音の挙動を指定します ADD:鍵盤を押している間、ステップにノートを追加します。 OVERWRITE:鍵盤を押している間、現在のステップに入っているノートを新しいノートで上書きします。 ADD(1STEP):鍵盤を押した瞬間のステップにだけノートを追加します。 OVERWRITE(1STEP):鍵盤を押した瞬間のステップに入っているノートを新しいノートで上書きします。 ERASE:鍵盤を押している間、現在のステップに入っている該当ノートを削除します。
PRM2	GATE	10~90%	
PRM3	METRONOME	Off, 1~15	メトロノームの音量
PRM4	BPM	40~250	
PRM5	PTN CHAIN	Off, On	再生時に指定したパターン間をチェーンして再生するか否かの設定
PRM6	START PTN	000~127	チェーン時の開始パターン
PRM7	END PTN	000~127	チェーン時の終了パターン
PRM8			

3 新規追加 MIDI メッセージ

ステップシーケンサーモード時、MIDI の SONG SELECT メッセージでパターンを選択することができます。

再生中は現在のパターンを再生した後に新しいパターンに切り替わります。

4 パターン管理

PATTERN メニューで ELZ_1 内のパターンを管理します。

- ① [MENU]キーを押す
- ② [DOWN]/[UP]キーを押し、SEQUENCER を選択し[OK]キーを押す
- ③ [DOWN]/[UP]キーを押し、PATTERN を選択する。
- ④ [OK]キーを押し、PATTERN メニューに移動する

4.1 パターンの名前変更

パターンの名前を変更します。

- ① [DOWN]/[UP]キーを押し、対象のパターンを選択する
- ② [OK]キーを押す
- ③ [DOWN]/[UP]キーを押し、Rename を選択する
- ④ [OK]キーを押す
- ⑤ <TYPE><1>~<4>ノブを使用し、名前を編集する
 <TYPE>ノブ：カーソルの左右移動
 <1>ノブ： 文字の変更
 <2>ノブ： 文字の種類の変更 (大文字→小文字→数字→記号)
- ⑥ [OK]キーを押して編集を完了する

【HINT】

- ・ 編集中に[MENU]キーを押すことで変更をキャンセルすることができます。
- ・ 使用可能な文字/記号は次の通りです。
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
 0123456789
 !"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\\]^_`{|}~ (スペース)

4.2 パターン単体の初期化

任意のパターンを初期化します。

- ① [DOWN]/[UP]キーを押し、対象のパターンを選択し[OK]キーを押し
- ② [DOWN]/[UP]キーを押し、Initialize を選択し[OK]キーを押し（確認画面が表示される）
- ③ [DOWN]/[UP]キーを押し、Yes を選択し[OK]キーを押し

【HINT】

- ・ 初期化したパターンは初期化前に戻せないなので本操作は慎重に行ってください。

4.3 パターンのエクスポート

任意のパターンをエクスポートします。

エクスポートしたパターンは ELZ_1 ストレージ内の PATTERN フォルダに保存され、PC/Mac からアクセスすることができます。

- ① [DOWN]/[UP]キーを押し、対象のパターンを選択し[OK]キーを押し
- ② [DOWN]/[UP]キーを押し、Export を選択し[OK]キーを押し
- ③ <TYPE><1>~<4>ノブを使用し、エクスポートファイル名を編集する
<TYPE>ノブ：カーソルの左右移動
<1>ノブ： 文字の変更
<2>ノブ： 文字の種類の切り替え（大文字→小文字→数字→記号）
- ④ [OK]キーを押し（確認画面が表示される）
- ⑤ [DOWN]/[UP]キーを押し、Yes を選択し[OK]キーを押し

【HINT】

- ・ 編集中に[MENU]キーを押しすることで変更をキャンセルできます。
- ・ 本体内ストレージの MEMORY フォルダに保存されます。
- ・ 使用可能な文字/記号は次の通りです。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

!#\$%&'()*+,-.:=@[]^_`{|}~ (スペース)

4.4 パターンのインポート

ELZ_1 ストレージに保存されているパターンファイルを任意のパターンにインポートします。

- ① [DOWN]/[UP]キーを押し、対象とするパターンを選択し[OK]キーを押す
- ② [DOWN]/[UP]キーを押し、Import を選択し[OK]キーを押す（ELZ_1 ストレージの PATTERN フォルダ内のファイルが一覧表示される）
- ③ [DOWN]/[UP]キーでインポートしたいファイルを選択し[OK]キーを押す（確認画面が表示される）
- ④ [DOWN]/[UP]キーを押し、Yes を選択し[OK]キーを押す

【HINT】

- ・ ELZ_1 ストレージの PATTERN フォルダ内にあるパターンファイルのみが一覧表示されます。

5 ELZ_1 を外部クロックと同期する (CLOCK メニュー)

ELZ_1 のアルペジエーターとステップシーケンサーは外部クロックソースに同期することができます。

CLOCK メニューでクロックソースを選択します。

- ① [MENU]キーを押す
- ② [DOWN]/[UP]キーを押し、SEQUENCER を選択し[OK]キーを押す
- ③ [DOWN]/[UP]キーを押し、CLOCK を選択する
- ④ [OK]キーを押し、CLOCK メニューに移動する
- ⑤ 使用するクロックソースを選択し、[OK]キーを押す

クロックソース	説明
Internal	ELZ_1 本体内蔵クロック
MIDI Clock	外部 MIDI 機器クロック
Sync	AUX IN 経由で入力する外部クロックパルス (詳細は、 SYNC 機能 をご参照ください。)
Sync (Thru)	AUX IN 経由で入力する外部クロックパルス。 ヘッドホン端子経由でクロックパルスをスルーします。(詳細は、 SYNC 機能 をご参照ください。)

6 SYNC 機能

<重要>

全ての SYNC 対応機器との接続を保証しておりません。

故障の原因となりますので ELZ_1 の AUX IN 端子に 5V を超える電圧の入力はしないでください。

KORG 社 volca シリーズや Teenage Engineering 社 PO シリーズなどが出力するクロックパルスを入力し、ステップシーケンサーやアルペジエーターのテンポを同期させることができます。また、PO シリーズとはステレオミニピンケーブルで接続することで、クロックパルスと同時にモノラルオーディオ信号も AUX IN から入力することができます。

外部クロックソースの選択方法は、[ELZ_1 を外部クロックと同期する \(CLOCK メニュー\)](#) をご覧ください。

6.1 外部クロックソースと ELZ_1 の AUX IN 端子の接続

volca シリーズ	volca シリーズの SYNC OUT 端子と ELZ_1 の AUX IN 端子を モノラル ミニピンケーブルで接続。ステレオミニピンケーブルで接続すると、クロックパルスが R チャンネル側の音声として聞こえます。ステレオミニピンケーブルで接続する場合は、MENU 内の AUX IN GAIN を 0 にしてください。
PO シリーズ	PO シリーズのヘッドホン端子と ELZ_1 の AUX IN 端子を ステレオ ミニピンケーブルで接続。PO シリーズの sync mode を SY1 か SY3、SY5 にしてください。PO シリーズの音量は PO シリーズ本体か ELZ_1 の MENU 内 AUX IN GAIN で調整することができます。
ELZ_1	前段の ELZ_1 のヘッドホン端子と後段の ELZ_1 の AUX IN 端子を ステレオ ミニピンケーブルで接続。後段の ELZ_1 のクロックソースを Sync か Sync(Thru)に設定してください。

6.2 SYNC 信号の入力ゲインを調整する

ELZ_1 のシーケンサーやアルペジエーターが外部 SYNC 信号と上手く同期しない場合は SYNC 信号の入力ゲインを調整してください。

- ① [MENU]キーを押す
- ② [DOWN]/[UP]キーを押し、SEQUENCER を選択し[OK]キーを押す
- ③ [DOWN]/[UP]キーを押し、SYNC IN GAIN を選択する
- ④ [OK]キーを押し、SYNC IN GAIN メニューに移動する
- ⑤ 入力ゲインを調整し[OK]キーを押す

外部クロックソース機器	SYNC IN GAIN の目安
volca シリーズ	-9dB
PO シリーズ	-9dB
ELZ_1	-9dB

6.3 SYNC THRU 機能

AUX IN からの SYNC 信号をヘッドホン端子の L 側からスルーします。

- ① ELZ_1 を外部クロックと同期する (CLOCK メニュー) を参考にクロックソースを Sync (Thru) に設定する
- ② ELZ_1 のヘッドホン端子と外部機器の SYNC IN 端子を接続する

volca シリーズ	モノラル ミニピンケーブルで volca シリーズの SYNC IN 端子に接続。
PO シリーズ	ELZ_1 の音声とクロックパルスの両方を PO シリーズに入力する場合は、 ステレオ ミニピンケーブルで接続。PO シリーズの sync mode を SY4 か SY5 にしてください。 ELZ_1 のクロックパルスのみを PO シリーズに入力する場合は、 モノラル ミニピンケーブルで接続。po シリーズの sync mode を SY2 か SY3 にしてください。
ELZ_1	ステレオ ミニピンケーブルで接続。後段の ELZ_1 のクロックソースを Sync か Sync (Thru) に設定してください。

- ③ ヘッドホンボリュームを最大にする。

【HINT】

- ・ Sync (Thru) 時、ヘッドホン端子の L 側から SYNC 用クロックパルス、R 側からモノラルオーディオが出力されます。
- ・ SYNC THRU 信号を受けた外部機器が上手く同期しない場合は ELZ_1 のヘッドホンボリュームを調節してください。

7 シンセエンジンの新規追加機能

7.1 モジュールーション対象パラメーターの追加

モジュールーション対象のパラメーターが追加されたシンセエンジンは次の通りです。

シンセエンジン	ASSIGN で選択可能になったパラメーター
DNA EXPLORER	EXPLORE, DIG, HARMONY, GAIN
SiGRINDER	RESOLUTION, DIG, HARMONY, BIT CRUSH, START, END, TIME, GAIN
SAND FLUTE	PITCH

7.2 SAND FLUTE の MONO/LEGATO モードに GLIDE パラメーターの追加

SAND FLUTE の MONO/LEGATO モードにも GLIDE パラメーターが追加され音程の変化スピードをコントロールできるようになりました。

8 ユーザーデータのバックアップ対象の追加

8.1 バックアップ対象のユーザーデータ

バックアップ対象は下記の通りです。

- MEMORY 0~127
- 8BIT WAVE MEMORY で使用している Bank01~50、FM01~20 の波形
- DNA EXPLORER/SIGRINDER で使用している WAVEDATA1~3 波形
- PTN 0~127 (Ver.2 で追加)

8.2 Ver.1 でバックアップしたファイルとの互換性

Ver.1 で作成されたバックアップファイルを Import しても、ELZ_1 内のパターンデータは初期化されません。

SONICWARE

株式会社ソニックウェア

www.sonicware.jp

ELZ_1_ADM_JPN_A